

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	林間学校等施設管理運営事業(大平)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課		包含する細々目	1	10	1	3	10	2	
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり											
施策	54 自然とのふれあいと環境学習の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議								
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	大平宿泊訓練施設	施設数(施設)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	1	1
						23年度以前に終了は終了年度とする
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	適切に管理される	施設管理に対する苦情の数	18目標	0	最終目標	
			18実績	0	19目標	↑
			23目標	0	23実績	最終目標達成年度
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	↑
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	林間学校等の施設管理経費 <参考> 細々目名: 林間学校等施設管理費	電気代、施設修理修繕(給水管修理、排水管修理、硝子破損修理、屋根外壁修理、内装修繕、外構修繕、その他修理修繕)、汚物汲取手数料、建物保険、給水ポンプ点検清掃、施設用地借地契約及び支払い	維持管理費	339
	18年度の実績			
	19年度計画	電気代、施設修理修繕(給水管修理、排水管修理、硝子破損修理、屋根外壁修理、内装修繕、外構修繕、その他修理修繕)、汚物汲取手数料、建物保険、給水ポンプ点検清掃、施設用地借地契約及び支払い		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	30	30
	一般財源	309	303
事業費計(A)		339	333
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	339	333

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・自然とのふれあいや環境学習の機会を作る	・自然・環境学習会の企画事業数	現状値	0	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 大平小学校廃校に際して、施設の有効利用のため事業開始	事業を取り巻く状況の変化 利用者数が極めて少ない状況で推移している。	事業に対する市民や議会の意見
---	---------------------------------------	----------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつかない (その理由) 市内小中学生の利用がほとんど無いため	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由) 立地条件等からも利用者を増やすことは難しい
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 施設管理のための事業であるため		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 少数ではあるが利用者がいるため
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 事業廃止を視野に入れた場合必要		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 林間学校等施設管理運営事業(姫宮)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市の施設であるから		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 最低限の状況であるため
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 利用者から負担金を徴収している。提供できるサービスが限られているため、これ以上の負担金徴収は困難である

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	